

目次

月報アルバム——地球回転に関する国際シンポジウムの報告	奥田豊三	179
銀河系外星雲の中心核	若松謙一・作花一志	180
銀河系の中心部	奥田治之・舞原俊憲	184
地理院の機械屋	関根章夫	189
新刊紹介		191
学会だより		193
投稿欄		193
雑報		193
天象欄——8月の天文暦、パービッジ (Burbidge) 夫妻		195

——表紙写真説明——

M63 に出現した超新星

1971年5月24.2965日(U.T.)に G. Jolly により発見された超新星で、直接写真は5月25日夜、堂平観測所の50cm 彗星写真機で写したものである。矢印の先が超新星で、岡山91cm 鏡での光電観測では眼視等級12.09±0.01等である。比較のために超新星の直ぐ南の恒星の光度が測られ、眼視光度12.98±0.01等が得られた。黒みを測定しやすいわざと焦点を外してある。全体と比較のため岡山観測所の188cm 鏡のニュートン焦点で得られた写真を並べた。

スペクトルの写真は、5月25.57396日(U.T.)に岡山観測所の188cm 鏡カセグレン焦点にて得られたもので、イメージ・インテンシファイアーを使用し1時間の露出によるものである。原板上で230Å/mmで、3600~7000Åの波長域をカバーしている。

新刊発売中!

全国書店にて申込受付中

天体観測 データ・ブック

東亜天文学会編

天体観測シリーズ第12巻
A5判・250頁・¥1200・〒送90

本書は、天文学と各種天体及び各方面の天体観測にわたる必要な数値や資料を全般的に整理して集めたものであり、天体観測者にとってアマチュア天文家だけでなく、専門家に対しても役立つものとして編集した。従って本書は単なる天体観測法の書ではなく、初めて天体観測に志す人にも利用できる半面、可成り深入りした天体観測者のハンドブックとしても適切であるように意を用いた。なお「天体観測シリーズ」に一冊を設けて取扱うことをしなかった天体については、基本的数値ばかりでなく、その天体の観測法なども加えて述べるように努めた。本書の各方面の内容が一様でなく、可成りの変化があるのは、各執筆者の持ち味を活かすように意を用いた結果であり、却って多彩な内容になったものとひそかに自任している。
〈村上 忠敬〉

改訂 太陽面経緯度図

日本天文学会編 15cm 8面 ¥150 千70

観測用星図

日本天文学会編 A5判 図8 ¥500 千70

変光星図

五味一明編 B5判 図50点94図 ¥1,000 千70

スズキ星座図譜

鈴木敬信著 A4判 214頁 ¥2,800 千90

この書は全88星座にあてはめられた人物や動物、器具などの、すっきりとした親しみのあるしかも正確な配置を考慮し、その上、星座絵と対照に星図を配したもので、星座を覚えるのに、また天文教材として唯一のユニークな星座図譜である。

主な内容と執筆者

- 1 天球と星座 村上忠敬・佐藤明達
- 2 天文常数 村上忠敬
- 3 天体暦 長谷川一郎
- 4 地球型惑星 佐伯恒夫
- 5 木星型惑星 佐藤 健
- 6 彗星 岡 勉
- 7 月面 福井英信・長谷川一郎
- 8 流星 小俣孝二郎・森 保男
- 9 流星塵 森久保茂
- 10 太陽黒点 小山ひさ子
- 11 変光星・新星 本多英夫・山田達彦
- 12 二重星 稲葉通義
- 13 星雲星団 中野 繁
- 14 天体写真 村山定男・藤井旭
- 15 望遠鏡 星野次郎
- 16 天体発見について 長谷川一郎

千番号160 東京都新宿区三栄町8番地
電話(359)7371~5 振替東京59600番

恒星社 目録進呈



天文博物館

五島プラネタリウム

東京・渋谷・東急文化会館8階

電話(407)7131,7509

☆ 7月 火星の大接近

☆ 8月 夏の星座と月のみちかけ

投影時間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
平日	11.00	12.30	2.00	3.30	5.30	7.00
土日・祭日	11.00	12.30	2.00	3.30	5.00	6.30

○ 10月1日~3月31日の間は平日7.00の回は中止します。

○ 休館日 毎週月曜日(ただし夏休み中は無休館です。)

○ 料金 大人150円・学生100円・小人70円

